

## 国際南極大学に向けての北海道大学の取り組みと、極域科学普及のための一般向け南極イベントの開催について

International Antarctic Institute project in Hokkaido University, and an outreach event to promote cryospheric science.

本堂 武夫 [1]; 青木 茂 [2]; 山本 正伸 [3]; 杉山 慎 [2]; # 末吉 哲雄 [2]; 二橋 創平 [2]; 木村 裕美 [2]

Takeo Hondoh[1]; Shigeru Aoki[2]; Masanobu Yamamoto[3]; Shin Sugiyama[2]; # Tetsuo Sueyoshi[2]; Sohey Nihashi[2]; Hiromi Kimura[2]

[1] 北大・低温研; [2] 北大・低温研; [3] 北大・地球環境

[1] Low Temperature Sci, Hokkaido Univ; [2] ILTS, Hokkaido Univ.; [3] Env. Eath Sci., Hokkaido University

<http://www.earth.ees.hokudai.ac.jp/IAI/>

「国際南極大学 (IAI)」とは、オーストラリアのタスマニア大学 (UTAS) が提唱する、雪氷圏科学教育のための国際的な大学間連携プログラムである。現在までに日本を含む 12カ国、あるいは 17 の大学または研究期間が参画を表明しており、広範な雪氷圏科学の教育プログラムが検討されている。

寒冷圏科学には、山岳氷河、極域の氷床、海氷、氷や雪の物性、永久凍土などといった様々な分野があり、各大学はそれぞれの特色を生かして教育を行っている。このプロジェクトでは、そのような各大学の得意とする分野を生かして、寒冷圏科学分野における大学院教育を充実させ、同時に、海外の学生との交流を促進することを目的としている。

北海道大学大学院環境科学院では、この国際南極大学構想へ参画し、海外ではスイス連邦工科大学 (ETH)・タスマニア大学、国内では総合研究大学院大学・東京海洋大学と連携して、極域科学の専門教育にさらなる貢献を果たすことを目指している。

国際南極大学への参画の一環として、北大環境科学院は 2007 年 4 月より「南極学カリキュラム」をスタートし、講義や実習の中から一定の単位を所得した学生には、南極学修了証書 (Diploma of Antarctic Science) が授与されることとした。この修了証書は所属する専攻での修士課程修了とは独立したもので、南極科学に関する専門教育を修めたことを証明するものである。

このように国際的に開かれたカリキュラムを整備する一方で、南極学カリキュラムの開設を高校生・学部生に対して周知し、極域科学の面白さを伝える機会を作るために、南極での実際の研究活動を紹介するイベントを企画した。

実際に南極越冬隊に参加した経験を持つ研究者を招いてのサイエンスカフェや南極昭和基地とのテレビ生中継などを行い、参加者に極域の科学を肌で感じてもらえるよう工夫を凝らした。イベントの実施に当たっては、カリキュラムの一環であるスイス野外実習に参加した学生の助けを得て、学生達が自分たちの実習体験を伝える機会にもなるようにした。

本発表では、イベントでの動員数やアンケートの結果も合わせて報告する。